

広報

おいらせ



町の誇りをかけて

第33回上北郡総合体育大会は6月5日、6日の両日、六戸町で開かれた。本町は見事総合優勝に輝いた。サッカーは決勝戦でPK戦の末、惜しくも破れた。激しく競り合いながら、切れ味鋭いドリブルで相手陣内に切り込む川村健太選手⑰＝本村＝。

魅力あるビジネスへ前進

おいらせの
農業経営

Oirase's new agriculture

Special
Edition

Public
Relations
July
2010
No.65

7

広報 おいらせ

7

Oirase Town Public Relations
July 2010 No.65

CONTENTS 目次

02 OIRASE FRONT PAGE
—出町元大君—

03 特集 魅力あるビジネスへ前進
おいらせの農業経営

12 Oirase Topics まちの話題
町青少年育成町民会議総会、青森県水防演習、イチゴ狩り ほか

14 Special Topics
全国施設選抜レディースフットサル大会、郡総合体育大会

16 町内会に加入しよう

18 国民健康保険税を
引き上げします

20 介護保険 INFOMATION

22 Monthly Oirase Infomation
お知らせ◎子ども手当の申請、町敬老会、自治推進委員会委員募集 ほか

25 国民年金♥ガール

26 おいらせ健康カレンダー

27 戸籍の窓

28 家族のきずな
—小向ひよりさん・光洋さん—



広報おいらせ7月号の印刷経費は、1冊あたりおよそ42円です

魅力あるビジネスへ前進

Special Edition

おいらせの農業経営

Oirase's new agriculture

食料自給率が40%を下回っている今の時代。農業は食糧を生み出す産業として、大きな期待を寄せられています。やり方次第ではビックビジネスへ発展する可能性を秘めています。「より安定した収入を得たい」「農業用地を有効に活用したい」「互いの時間を大切にしながら役割を分担したい」—農業が未来へ進むための「ヒント」を探ります。



農業を継いで10年目を迎えた松林彰彦さん(27)木ノ下=。早朝に収穫したダイコンを、手慣れた様子で洗浄する。

みんなに
教えたくなる
この人

将棋で培った高い集中力
常に上を目指して頑張りたい



出町元大君

全国小学生倉敷王将戦出場者

でまち・もとひろ◎1998(平成10)年百石町黒坂(当時)生まれ。小学校4年生のころから本格的に将棋を始める。地道に努力を重ね、現在は1級の腕前。沈着冷静な手筋に定評がある。祖父母、父母、姉、兄との7人暮らし。おいらせ町黒坂在住、11歳

全国小学生倉敷王将戦おいらせ予選会は6月13日、大山将棋記念館で開催。およそ30人の参加者が、息詰まる熱戦を繰り広げた。
小学校高学年の部で見事優勝したのは出町元大君(11) 黒坂。7月に岡山県倉敷市で行われる本大会へ出場する。「決勝戦は厳しい対戦でした。相手にはこれまで何度も負けていましたから、勝てたのが本当にうれいす」とにっこり。
出町君は小学校4年生の時から本格的に将棋を始めた。当時の担任、竹ヶ原雅幸先生から「手筋がいいね」と褒められ「それなら本格的に将棋をやってみよう」と思ったのがきっかけだった。

町内で行われる将棋教室にも積極的に参加。めきめきと腕前を上げていった。
将棋は相手の心理を読み、的確に駒を指すことが必要。出町君は「相手はどう攻めてくるか、自分はどう対応するか」を常に考え対戦に臨む。集中力を常に高め、冷静に思考する。
将棋で培った高い集中力は、学校の勉強にも大きな影響を与えた。物事を落ち着いて考えるようになり、学校の成績も上がった。礼儀を尽くすことの大切さも学んだ。「テストの時も落ち着いて考えられます。見直しもきちんとできるようにになりました」と誇らしげだ。
「今後の目標はまず初段を取ること」と力強く話す出町君。さらなる高みを目指し、一歩一歩、確実に前へ進んでいく。

INTERVIEW



Yoshida Hiroaki

将来の夢や幸せを描きながら
家族経営協定を結んでほしい

町農業委員会 **吉田浩昭** 主事

家族経営協定を締結する農業者は現在 22 世帯。さらに増やしたいと考えています。この協定は普段の取り組みを家族で話し合いながら、書類として形にするものです。余暇や給料だけでなく、中には結婚記念日の宿泊旅行を盛り込んだものもあります。家族が互いに幸せになるよう、夢を盛り込んで良いのです。興味がある農業者は、農業委員会へ気軽に問い合わせてください。

町農業委員会 ☎ 0178 6 4874



おいらせの 農業事情



時代の変化に伴い、
農業をめぐる社会情勢は激変。
農業経営に求められる姿は
刻々と変わってきている。
「古き良き農業」から
「魅力あるビジネス」へと――

◀初夏のおいらせは濃い霧「ヤマセ」で覆われる。低温多湿な気候の影響を受け、昔から根菜類の栽培が盛んに行われてきた

「農業は町の基幹産業。強い経営基盤を持つ農業者を育成しなければならぬ」
町はこのほど、国や県の方針と照らし合わせながら「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想(2006年)」を改定。▼認定農業者の育成▼集落営農の促進▼農地利用集積の促進▼女性農業者の積極的な参加などを盛り込んだ。
町農業委員会も「家族経営協定」の締結を積極的に呼びかけた。▼家族内の男女共同参画推進▼経営意識の向上▼後継者育成など、経営体のつながりをさらに強めたいと考えている。
農業は「経営者の頑張り」だけでは支えきれない。行政や関係機関がスクラムを組み、「ビジネス」として魅力ある農業をつくりあげる必要がある。

しかし時代とともに、農業をめぐる環境は激変した。高度経済成長期以降、第1次産業の従事者は減少の一途をたどる。他産業との収益格差により、担い手となる後継者は首都圏や中核都市への仕事を求めて流出。深刻な後継者不足をもたらした。

後継者不足や高齢化 農業をめぐる課題は山積

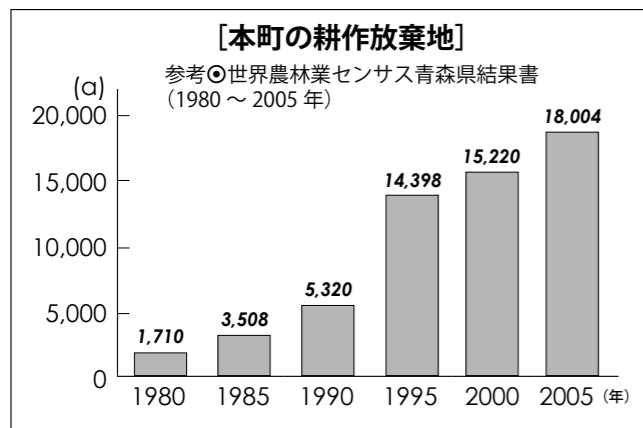
しかし時代とともに、農業をめぐる環境は激変した。高度経済成長期以降、第1次産業の従事者は減少の一途をたどる。他産業との収益格差により、担い手となる後継者は首都圏や中核都市への仕事を求めて流出。深刻な後継者不足をもたらした。

農業経営基盤の強化で 魅力のある農業をつくる

本町は奥入瀬川がもたらす豊富な水と、広い平野、台地に恵まれた場所。先人たちは苦勞を重ね、血のにじむような思いで農地を開拓してきた。
三本木原開拓により、町の南部は古くから稲作が行われてきた。火山灰土壌の多い北部では畑作農業が盛ん。初夏にかけて太平洋から流れる冷たく湿った空気「ヤマセ」の影響を受けるため、低温に強いダイコンやニンジンなどの根菜類が主力になった。
特においらせ産の根菜類は中央市場でも高い評価を得ている。良質で味が良く、安全なおいらせ野菜―今や町が誇る「ブランド」として確立した。

春から秋の間に発生するオホーツク海気団から、冷たく湿った風が南下。海上に霧を発生させる。霧は太平洋の平野部を覆い、気温を低下させる。

おいらせの根菜類はブランドとして高い評価

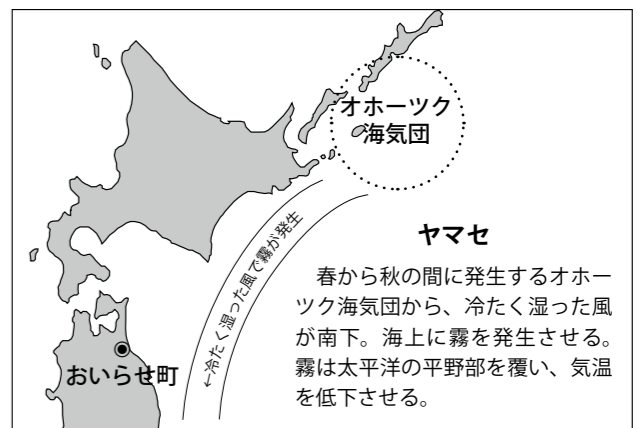
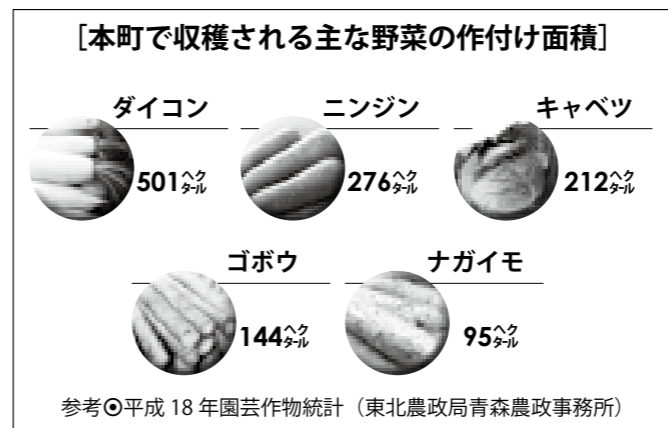


[本町の農業就業人口]

年	総農家数	専業農家	兼業農家	兼業率(%)
1980	2,048	272	1,776	86.7
1985	1,980	271	1,709	86.3
1990	1,813	234	1,579	87.0
1995	1,643	236	1,407	85.6
2000	1,384	201	1,183	85.4
2005	1,162	223	939	80.8

*旧下田町、旧百石町の数値をそれぞれ合計したもの

参考◎世界農林業センサス青森県結果書(1980～2005年)





▲牛舎の中でウシに牧草を与える澤上さん。50頭ほどのウシの胃袋を満たす牧草は、20haもの牧草地で刈り取られる

耕作放棄地 を生かす

File 2 集団営農で
畜産と密接連携

「広大な土地で牧草を栽培できから、本当に助かるよ」澤上薫さん(45) 木ノ下はウシに牧草を与えながらにっこり。木ノ下地区の大規模区画農地で、農家と牧草栽培を契約。年間を通じ、牧草を安定して得られる。

この大規模区画農地はおよそ100畝。このうち約20畝が牧草地だ。国の補助事業を活用し、1994(平成6)年から整備された。もともと水田として整備されたが、減反政策のため、今はほとんどが野菜や牧草の栽培に使われている。利用率はほぼ100%だ。

区画整理事業と同時に、農業の受委託を行うため「前営前営農組合(馬場蔵組合長)」が

発足。農作業の中には「地域の畜産農家との委託契約」も盛り込まれた。これは減反による耕作放棄地を活用。組合員が畜産農家へ、牧草の栽培や刈り取りなどを委託するものだ。

委託農家は利用していない農地を、牧草地として管理してもらうことができる。牧草の作付けは転作の対象になるため、国の補助金を得ることも可能だ。

受託した畜産農家は、家畜のえさになる牧草を安定して得られるメリットがある。新たに土地を購入するよりも、経費を大きく抑えることができる。

地域ぐるみの「集団営農」で異業種が密接に連携する前営前営農組合「耕作放棄地を上手に生かした例のひとつだ。

「農地はあるが活用されていない」耕作放棄地の拡大は年々進んでいる。手付かずの農地はやがて荒れ、農地としての価値は急激に下がる。木ノ下地区で組合を組織し展開される集団営農は、異業種と結びつきながら耕作放棄地を活用する好例だ。



6年ほど前から農地を集積させた雫石さん夫妻。秋の収穫に向け、ゴボウの苗はすくすくと成長している

農用地を 集積する

File 1 農用地利用集積で
農作業を効率化

「ゴボウ畑の草取り機械を買ったから、作業はずいぶんはかどるようになったね」雫石寿雄さん(46) 豊栄は笑顔で作業。ゴボウ畑に隣接するダイコン畑では、妻の祥子さん(41)が草取り作業に汗を流している。

雫石さんは父石男さんが亡くなる6年ほど前から、農用地の集積を進めてきた。それまで三沢市や六戸町に借りていた農地を、町内農地に切り替えた。集積を進めるには、さまざまな苦労があった。寿雄さんは「快く土地を貸してくれる人を探すには、やはり人同士のつながりがなければならぬ」と話す。年月をかけて、今は自宅から2*圏内に土地を集約させた。



土地を集積させたことで、移動時間や経費の削減、管理の効率化、気候に合った作物の計画的栽培などが可能になった。

「隣り合わせの畑なので、夫婦で作業分担もできます。近くにいるから安心です」と話す祥子さん。農用地集積のメリットは想像以上に大きいようだ。

農業用地を集積すれば、作業効率は大幅にアップする。6年という長い年月をかけて農地を集積させた雫石さん夫婦。時間や経費の削減だけでなく、互いの役割分担も明確化。夫婦互いの安心感も感じている。

跡継ぎの

家族経営協定で
お互いの役割を明確に

File 3

責任感

農業の多くは家族経営によるもの。役割や報酬などを「家族経営協定」として明確にすることで、責任感ややりがいが高まる。「ピンチをチャンスに」——心強い跡継ぎと共に汗を流す松林さん一家。笑顔がすてきな「ファーマー」たちだ。

ダイコン収穫作業は今が真つ盛り

早朝4時—広大なダイコン畑にトラクターのエンジン音が響く。松林秀樹さん(54) Ⅱ木ノ下Ⅱは家族総出でダイコンの収穫に汗を流す。

青々と茂る葉を引つ張ると、真つ白くみずみずしいダイコンが姿を現す。中には長さ50センチ近い大物も。

「今年のダイコンもいい出来だね」と秀樹さん。妻の妙子さん(54)、長男の彰彦さん(27)もにっこり。彰彦さんは農業に従事し今年で10年目。子どものころから父の姿を見て、後継者としての自覚を持った。三本木農業高校を卒業し、家業を継いだ。トラクター

の操作、選別作業なども手馴れたものだ。

「アツキ(彰彦)は頼りになりますよ。若くて力もあるし」と妙子さんは誇らしげ。秀樹さんもうなずく。彰彦さんは恥ずかしいのか、まるで話を聞いていないようなそぶりだ。

収穫したダイコンは自宅で洗浄され、午前中のうちに農協の野菜出荷センターへ運ぶ。時折会話を弾ませながら、家族は忙しそうに作業を続ける。

協定締結がもたらす責任感と明日の活力

彰彦さんが農業に従事して2年後の2003(平成15)年、秀樹さんは家族経営協定を締結した。彰彦さ

んも仕事を覚え、跡継ぎとしての意識が芽生え始めたころだった。農業委員会からの勧めもあり、秀樹さん、妙子さん、彰彦さんの3人で協定を締結した。

協定の内容は互いの役割や報酬を明文化したものの。▼毎月給料制で報酬を支払うこと▼年2回ボーナスを支給すること▼余暇の過ごし方—などを盛り込んだ。協定を締結したことで、秀樹さんが最初に感じたのは「制度の優遇」だった。

▼農業機械を購入する際の資金借入れ▼農業者年金への補助—などだ。

家族の家計を管理する妙子さんの意識も少しずつ変わった。経理を担当することで責任感が生まれた。妻として、そして経営担当者としての大きな役割を担うことで、自覚の変化があったようだ。余暇の楽しみ「ママさんバレー(家庭婦人バレーボール)」の活動にもさらに熱が入った。

「バレーで汗を流すと、心も体もすっきりします」とほほ笑む。このほど行われた郡大会では、見事優勝。仕事へのモチベーションはさらに高まっている。

ピンチをチャンスに心強い跡継ぎの決意

「確かに農家にとって厳しい時代かもしれません。でもそんな今こそ、おれたちに与えられた役割は大きいと思います。ピンチをチャンスにできるはずです」

彰彦さんは農業の置かれた現状は十分承知の上。将来の飛躍をしっかりと見据えている。責任感あふれる、立派な跡継ぎの顔だ。

「かわいい2人の娘たちのためにも頑張らなければ。農業の火を絶やさないようにしたいです」

ひげを生やした口元が思わず緩む。優しい父親の表情を見せた後、引き締まった面持ちで前を見た。



ダイコンの収穫作業に汗を流す松林さん親子。農業へかける両親の熱い思いは、彰彦さんにもしっかりと受け継がれる



後継者／松林彰彦さん(27) 家族

▲彰彦さんは2児の父親。「子どもたちの笑顔が活力の源」とにっこり。左から彰彦さん、瑠香ちゃん、樹莉ちゃん、理絵さん



経営者の妻／松林妙子さん(54)

▲ママさんバレーの中心選手として活躍する妙子さん。「仲間たちと一緒にバレーを楽しむことでリフレッシュしています」



経営者／松林秀樹さん(54)

▲町を代表する認定農業者の一人。作付けする主な作物はダイコンが3ha、ニンジンが2.8ha、ナガイモが0.8ha

人間が生きるために必要な食糧を支える農業 農業者の高い経営意識で未来に向かって進む

ナガイモの種芋を掘り起こす松林敏美さん
の家族=木ノ下=。秋の収穫に向け、準備
作業を念入りに行う



「農は万業の大本なり」
江戸時代後期の農政家、
二宮尊徳は農業の重要性を唱えた。
でも、農政をめぐる社会情勢は、
時代と共にめまぐるしく変化した。
「農業は厳しい」
そう思われた時期は確かにあった。
しかしそれを逆手に取れば、
よりつながりの強い農業ができる。
土地だって、地域だって、
そして経営を支える家族だって。
「ピンチじゃない。チャンスだ」
自信を持って語った後継者がいた。
頼もしい。本当に頼もしい声だ。
おいらせの農作物は、
短い夏のまぶしい太陽を浴びて、
すくすくと成長していく。
これが未永く続いていくためには、
担い手自身がまぶしく輝きに満ち、
やりがいや喜びを感じられることが
絶対に必要だ。サポートが必要だ。
産業として、ビジネスとして
飛躍する可能性に満ちた農業。
経営意識の高まり、人のつながりで、
農業をより立てる土壌をつくらう。

特集◎魅力あるビジネスへ前進
おいらせの農業経営 終わり

TOP INTERVIEW - Narita Takashi

農業を元気づける 施策を展開したい



▲「農業はやりがいと夢がある素晴らしい産業だ」
笑顔でポニーのつめを手入れする成田町長

「農業は生命を生み出す素晴らしい仕事だ」
—自らも農業者として経営に携わり、
熱い思いを抱く成田隆町長はこう信じている。
農業者の創意工夫や意欲はもちろん大切。
しかしそれだけでは解決できない課題が多い。
「行政としていかに農業経営を支えるか」
—若い後継者へのエールを込めながら、
町として農業を元気づけたいと考えている。

わたしは子どものころから父親の姿を見ながら、農業を営んできました。今はなかなか時間が取れずにはいますが、それでも水田の水管理をしたり、家畜の世話をしたりしています。

農業は「生き物」をつくり上げる仕事です。ですから自分の思い通りにいかないことがたくさんあります。価格や天候など外部の影響を受けることも多く、大変な仕事です。

でも生命を形にする農業には、ほかの産業にはない大きな魅力があります。自分でものをつくる喜び、やりがいがあります。

これからの農業は、昔のように「ひたすら汗を流す」だけでは経営できません。市場価格を読み取りながら、「いかに高値で取引されるか」「どのような方針で作物を栽培していくか」など、しっかりと見据えることが必要だと思います。そして経営の意識を明確に持つことが大切だと考えます。

国や県、町などの行政機関は、そのような意欲的な農業者に対し、優遇施策を展開しています。生産調整や*戸別所得補償制度などの補助制度があります。農業者はこれらの制度をしっかりと活用いただき、「どうすれば自分にとって

て有利になるか」を把握しておくことが大切だと考えます。

もちろんわたしたち行政も、これらの制度を分かりやすく伝えていく努力が必要です。担当職員は農政のプロとして、しっかりと勉強しておかなければなりません。

わたしたちの住むおいらせ町は、豊かな土壌と広大な平野に恵まれました。農業にとつて非常に条件の良い場所です。近年、農業者数が減少し、耕作放棄地が次第に増えてきていますが、農業経営規模の拡大を狙う農業者にとって大きなチャンスだと思っています。自分の経営能力を考えながら、効果的に規模拡大を狙えるからです。

少しずつではありますが、若く意欲的な農業後継者が育っていることも心強く思います。「頑張れ」とエールを送りたいです。「農業は生命を生み出す素晴らしい仕事だ」と若者が思うためにも、親や先輩がやりがいと自信を持って経営してほしいと考えています。

農業は町の大切な基幹産業です。農業が元気になれば、流通や雇用など、多くの産業に活気を与えます。農業者だけでなく未来の子どもたちのためにも、町はこれからも農業を元気づける施策を展開していきたいと考えています。

*戸別所得補償制度◎23年度から本格的に開始予定の事業。22年度は「モデル対策事業」として、水田を活用したコメや野菜の作付けへ助成金を交付する

色とりどりの花に見入る
サツキ展・山野草展

▶▶▶ June.12-2010



サツキ展・山野草展は6月12日、13日の両日、中央公民館、東公民館の2会場で行われました。
東公民館の和室には、色とりどりのサツキや珍しい山野草が所狭しと展示。華麗に咲き乱れる花々は甘い香りを漂わせていました。会場を訪れた人々は、その花々の美しさに見入っていました。
馬場勉さん＝木ノ下＝は「美しい花々を見ていると心がとても落ち着きます」と話していました。

◀ 華麗な花を咲かせるサツキに見入る馬場さん（右）

間木堤の植生回復を目指す
マコモボックス設置作業

▶▶▶ June.12-2010



町観光協会（馬場正治会長）は6月12日、「しもだ白鳥を愛する会」や「ももいし白鳥を愛する会」と協力し、間木堤へマコモボックスを設置しました。
これは間木堤の植生回復を目指す取り組みのひとつとして、榎山さん＝間木＝が考案したものです。木枠の中にマコモの苗を入れ、1.8m四方の浮島を設置するものです。
白鳥保護監視員の蛸名幸政さんは「ハクチョウのえさになるマコモが増えて欲しい」と期待を寄せていました。

◀ マコモボックスを組み合わせた浮島を設置する蛸名さん

段位アップを目指し真剣勝負
町民将棋大会

▶▶▶ June.13-2010



日本将棋連盟青森おいらせ支部（中戸俊洋支部長）は6月13日、町民将棋大会を開催。会場の大山将棋記念館には20人余りの町民が参加しました。
無段から5段までの段位を持つ参加者は、より上の段位取得を目指して真剣勝負。小学生から高齢者まで、幅広い世代同士で熱戦を繰り広げました。
中戸支部長は「将棋は強い相手と対戦することで力がついていきます」と参加者らへ話していました。

◀ 福田巧真さん（左、3段）と齊藤忠さん（右、初段）の真剣勝負

健康に気をつけて頑張る
町連合婦人会父の日キャンペーン

▶▶▶ June.14-2010



町連合婦人会（種市恭子会長）は6月14日、父の日キャンペーンとして成田町長へ花束を贈呈しました。これは婦人会の行事として毎年行われています。
種市会長は「いつもお疲れ様です。健康に気をつけて頑張ってください」と花束をプレゼント。成田町長は「ありがとうございます。みんなの力をいただきながら、これからも町のために頑張ります」と笑顔。初夏の日差しが差し込む町長室に、花の甘い香りが漂っていました。

◀ 「これからも頑張る」。成田町長を笑顔で囲む婦人会員ら

大人は子どもの良い手本だ
町青少年育成町民会議総会

▶▶▶ May.17-2010



町青少年育成町民会議（工藤志郎会長）は5月17日、町民交流センターで総会を開催。PTA会員や子ども会育成会員らおよそ100人が出席しました。
総会後は県教育者研究会会長の音喜多一郎さんが「ほめて叱って人を育てる」と題して講演。教育者として培った自らの経験から「大人は子どもたちの良い手本にならないといけない。ほめるためにもしかるためにも、子どもの気持ちを受け止めてほしい」と訴えました。

◀ 「人は人によって育てられる」。参加者へ熱く語りかける音喜多さん

客のもてなしはまず笑顔から
観光ホスピタリティー向上セミナー

▶▶▶ May.31-2010



公民館講座のメニューのひとつ「観光ホスピタリティー向上セミナー」は5月31日、東公民館で開かれました。これは観光地を訪れる人と、気持ちよくコミュニケーションをとる方法を学ぶものです。
講師を務めたのは説話コンサルタントの大竹辰也さん。「観光客は地元の人の表情や気持ちを見ている。満面の笑顔でもてなして欲しい」と熱弁。20人余りの参加者は緊張しながらも、笑顔で実技をこなしていました。

◀ 大竹さん（右）に笑顔で町を紹介する種市利美さん＝新敷＝

水害に備えて大規模訓練
青森県水防演習

▶▶▶ June.7-2010



県水防演習は6月7日、しもだサーモンパークで開かれ、消防団や消防署、住民などおよそ450人が参加しました。
訓練は「台風接近のため奥入瀬川の水位が急上昇。各消防団へ水防指令が発令された」という想定で行われました。
消防団員らは堤防の決壊を防ぐ「シート張り工」などを実践しました。一般住民の訓練に参加した榎山さん＝間木＝は「大変参考になった。地域の人々に訓練の内容を伝えたい」と決意を新たにしていました。

◀ シート張り工を手際よく行うおいらせ町消防団員ら

真っ赤なイチゴおいしいよ
川口保育園のイチゴ狩り

▶▶▶ June.9-2010



川口保育園（熊野博文園長）の園児およそ20人は6月9日、イチゴ狩りを体験しました。イチゴを栽培するビニールハウスは、十和田おいらせ農協ももいし支店が一般向けに開放しているものです。
園児らはビニールハウスに入ると、真っ赤なイチゴを目にして大騒ぎ。初夏の味を満喫しました。田口瑠月ちゃん（5つ）は「イチゴをたくさん取ったよ。とっても甘くておいしいよ」と、夢中でイチゴをほおぼっていました。

◀ 「とっても甘くておいしいよ」。イチゴをほおぼる田口瑠月ちゃん



男子バレーボールは見事優勝。ブロックで相手の強烈なスパイクを止めた

File-02



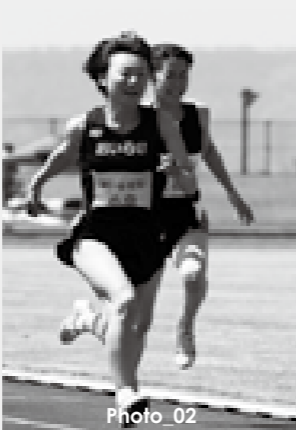
日々の練習で流した汗と涙は
おいらせに初優勝をもたらした

郡総合体育大会

本当に強い。強すぎる。第33回上北郡総合体育大会は6月5日、6日の両日、六戸町を主会場に開催。本町からは12競技の選手が出場。見事初優勝に輝いた。町のプライドをかけて試合に臨んだ選手らは、日々の厳しい練習の成果を思う存分に発揮。相手だけでなく、自分自身との戦いを制したその表情には、満足感と達成感、そして大きな自信がみなぎっていた。

熱気でむせ返る体育館に、おいらせチームの強烈なスパイクが決まった。バレーボール男子、本町出場チーム優勝の瞬間だ。選手らは抱き合い、互いの健闘をたたえ合う。菊池紀文選手(31)は「緑ヶ丘」は「久々の優勝で本当にうれしい。強い気持ちで試合に臨んだ結果」とにっこり。

男子サッカーは決勝戦で七戸町と激突。共に攻め合い、守り抜いた。スコアは0対0。PK戦に突入した。会場は緊張感に包まれる。おいらせは2人のシュートが止められ、惜しくも準優勝。果敢にミドルシュートを放った柏崎修司選手(28)は「あの場面で決めていれば」と悔しがった。選手らの流した汗と涙は、おいらせに初の総合優勝をもたらした。町体育協会の平野敏彦会長(63)は「来年も優勝を狙う」と気を引き締めた。



Photo_02



Photo_01

Photo_01 ◎男子サッカーは決勝へ進出。0対0で迎えたPK戦の末、惜しくも七戸町に敗れた。得点を狙い、果敢にシュートを放つ柏崎修司選手④

Photo_02 ◎女子100m走に出場した小向妙子さん=二川目。風を切るような走りで見事1位に輝いた

出場町村の総合順位

順位	出場町村	総合点
優勝	おいらせ町	67
2	七戸町	61
3	東北町	56
4	六ヶ所村	47
5	野辺地町	42
6	六戸町	35
7	横浜町	12

上位入賞した本町の種目

種目	順位
陸上競技(総合)	2位
バレーボール男	優勝
バレーボール女	優勝
バスケットボール男	3位
ソフトボール男	3位
卓球男	3位
卓球女	2位
家庭婦人バレー	優勝
ソフトテニス	3位
サッカー	2位
ボウリング	2位
グラウンドゴルフ	優勝

資料提供◎町体育協会

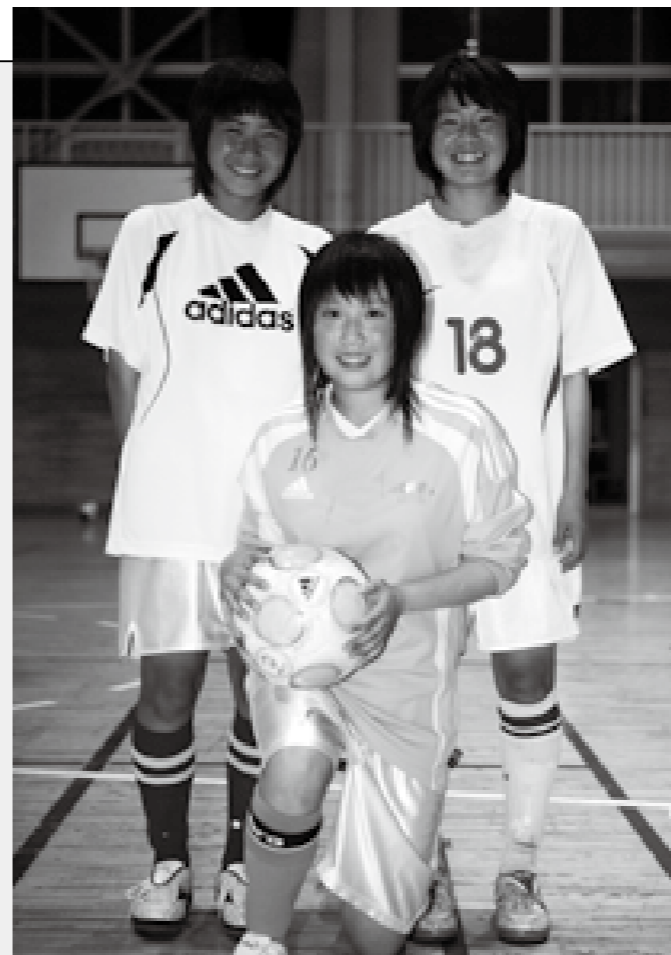
File-01



クラブとして初の全国出場
乙女たちは華麗に羽ばたいた

第6回全国施設選抜 レディースフットサル大会

「全国施設選抜レディースフットサル大会」は5月30日、愛知県名古屋市で開催。本町からも3人の選手が加わっているサッカークラブ「ナカスポ(来迎鉄雄監督)」は見事3位入賞を果たした。東北のチームとして初の入賞に、チームのモチベーションはさらに高まっている。互いの役割をしっかりとこなし、チームに勝利を呼び込んだ3人の乙女たち。これからの活躍が期待される。



左から円子幸恵さん、二川目杏樹さん、伊藤美紀さん

Miki Ito

伊藤美紀

(いとう・みき 下田中3年)

ポジションは攻撃的な左サイド。東北でもまれに見るテクニシャンとして注目。トリッキーなドリブルで相手陣内を切り裂く。「全国大会で気づいた課題を克服したいです」

Sachie Maruko

円子幸恵

(まるこ・さちえ 木ノ下中3年)

ポジションはサイドバック。自分より大きな相手にも怖がることなく、失点を防ぐ。1対1にも強く、当たり負けしない。「全国レベルでも通用できると確信しました」

Anju Futakawame

二川目杏樹

(ふたかわめ・あんじゅ 百石高1年)

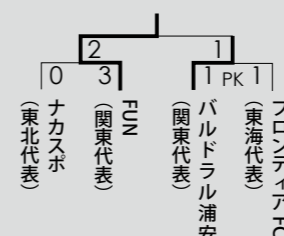
ポジションは守備的ミッドフィルダー。闘志あふれるプレーで相手の攻撃の芽を摘み取る。「全国大会でも会場の雰囲気にもまれず、自分の力を出し切ることができました」

1次リーグ

	ナ	メ	バ
ナカスポ(東北代表)		1-1 △	2-0 ○
メンバーオブギャング(東海代表)	1-1 △		1-0 ○
バンブグリーン(関西代表)	0-2 ×	0-1 ×	

*1勝1分けで首位通過

決勝トーナメント



*ベスト4敗退。3位入賞

東北代表として初の3位入賞。メンバーは大きな喜びと手ごたえを感じている。本町からも3人が選手として出場。勝負を決定付ける場面、重要な役割をきっちり果たした。

二川目杏樹さん(15)は「練習の成果をきちんと出せたと思います。でも課題もあります。しっかりと修正しなければ」と前を見る。全国で羽ばたき、結果を出した乙女たち。これからの活躍に目が離せない。

58の町内会と加入世帯数

No.	町内会名	会長名	加入世帯	実世帯
1	本村	田中直喜	168	196
2	鍋久保	松坂三男	14	15
3	三本木	八重垣勝利	108	148
4	三田	馬場正治	289	328
5	洗平	吹越久一	82	92
6	新敷	種市壽夫	72	76
7	阿光坊	工藤志郎	147	183
8	木内々	柏崎利信	226	294
9	間木	植山忠	145	227
10	染屋	市村堅二郎	37	69
11	木崎	苔米地善敬	87	159
12	秋堂	馬場誠悦	101	117
13	中野平	遠藤義美	23	28
14	苗振谷地	菅原善七	113	114
15	木ノ下	澤上勝	509	706
16	鶴久保	日野口和子	360	387
17	向山	中村淳悦	153	193
18	豊原	山口利弘	98	139
19	豊栄	角光利	55	59
20	苔米地	苔米地義弘	46	104
21	曙	田中康雄	125	136
22	住吉町	嵯峨文雄	95	224
23	向坂	内立啓己	37	42
24	若葉	白石邦夫	264	339
25	緑ヶ丘	松林義光	292	503
26	錦ヶ丘	中里千世	121	152
27	有楽町	野田頭雪男	34	35
28	青葉	新山昌	389	600
29	本町一丁目	木津國利	17	21
30	本町二丁目	木村日出夫	9	8
31	本町三丁目	小笠原國男	19	21
32	本町四丁目	木村英夫	11	10
33	本町五丁目	昆聡	37	55
34	本町六丁目	小向陸奥雄	59	72
35	八幡町	築田大義	26	36
36	中央町	鈴木一次	7	9
37	上新町	山崎斉	159	221
38	肴町	川口馨	55	71
39	大工町	田中松男	74	74
40	新町	小向勝利	64	96
41	七軒町	谷地武	119	168
42	下前田	百目鬼錦一	59	69
43	くるみ団地	北村法政	19	25
44	いちょう団地	工藤辰見	6	6
45	藤ヶ森	北向晃	302	383
46	堀切川	斉藤為雄	93	108
47	川口	田畑清吉	40	46
48	明神下	三村修一	59	75
49	横道	沼端政義	24	27
50	日ヶ久保	日ヶ久保正則	65	112
51	洋光台さくら	(小向ゆみ子)	13	14
52	洋光台	佐々木勝	382	433
53	のぞみ団地	福岡幸一	14	11
54	根岸	田澤久仁於	113	146
55	黒坂	橋本芳則	64	75
56	深沢	工藤一雄	90	111
57	一川目	工藤正志	462	603
58	二川目	山田勝夫	379	474

* () は世話役。実世帯数は4月1日現在の住民登録上の数値です。同一の家に住んでいても、親子で世帯分離をしている場合は2世帯として数えられます。一方、町内会は一軒単位で加入するのが一般的です。この違いが「世帯加入数」と「実世帯数」の差の要因のひとつにも考えられます。

企画課 ☎ 0178 64701

HUMAN'S VOICE



古間木山連合町内会長

福原仁一さん

青葉、若葉、緑ヶ丘、住吉町の4町内会で「古間木山連合町内会」を組織しています。転入者が多く、未加入世帯が多いのが課題です。これから先「自分たちのことは自分たちでできる」ことが必要です。いざというときにあわてないように、組織を強化していかなければなりません。

Fukuhara Jinichi

下前田町内会長

百目鬼錦一さん

下前田町内会は現在66世帯が加入しています。百石小学校が近くにあり、いつも子どもたちの声が聞こえています。このほどPTAや子ども会、地域ボランティアと協力し、学校前の県道沿いに花を植えました。「きれいだね」と言われ、とてもうれしく感じています。



Domeki Kinichi

三田町内会「広報きずな」編集長

小笠原牧子さん

三田町内会はおおよそ300世帯が加入する町内会です。毎月1回、カラー刷りの広報紙「きずな」を発行しています。三田には地域の活動を意欲的に行う人々がたくさんいます。みんなの熱い思い、やる気を少しでも紹介できたらと思い、悩みながらも楽しく編集作業をしています。



Ogasawara Makiko

犯や防災など「命を守る」もの▼ご管理や街路灯設置など「生活を便利にする」もの▼イベントや祭りなど「交流を深めるもの」――など、多岐にわたります。町民と行政との橋渡し役としても、大きな役割を果たしています。

「町内会に加入したくない」という人も確かにいます。しかし加入していても、町内会の取り組みによって実現した恩恵を、必ずや受けているはず。自分たちの地域は自分たちの手で――

互いに支え合う互助精神を大切に、町内会へぜひ加入しましょう。



▲向山町内会(中村淳悦会長)は昨年11月1日に防災訓練を実施。このほど自主防災組織を立ち上げ、災害に強い地域づくりを目指す

We love OIRASE

COMMUNITY

町内会に

【共に助け合うことで生まれる互助の精神】

加入しよう

町内会活動で 培われる互助の精神

「遠くの親戚より近くの他人」という言葉があります。地震などの災害が起こり、日常生活を行えなくなるようなとき、頼りになるのは隣近所との付き合いです。95年の阪神・淡路大震災、08年の岩手・宮城内陸地震などの大災害でも、町内会や自主防災組織など、隣近所の付き合いが大きな力を発揮しました。

いざという時に地域コミュニティがしつかり機能するためには、普段からの組織強化が大変重要です。地域の活動をお互いに積み重ねていくことで、融和と結束、互助の精神が養われていきます。

未加入者でも受けている 町内会活動の恩恵

現在、本町には58の町内会があります。住みよい地域をつくるため、互いに会費を出し合いながらさまざまな活動を行っています。

町内会で行う活動は▼防

One for all, all for one

国民健康保険税を 引き上げします



誰もが安心して医療サービスを受けられるよう、みんなで助け合うのが国民健康保険です。しかし近年、医療費の増大や収納率の低下で、国民健康保険を支える財政は非常に厳しくなりました。町は安定した医療サービスを提供するため、国民健康保険税を次のとおり引き上げます。

改定後の税率・税額

	医療分 (0~74歳)	後期高齢者 支援分(Ⅱ)	介護分 (40~64歳)
所得割*1	6.3% [5.3%]	1.9% [1.4%]	1.6% [0.8%]
資産割*2	36.0% [31.0%]	9.2% [7.7%]	8.2% [7.2%]
均等割*3	27,200円 [24,000円]	7,600円 [5,500円]	9,200円 [8,300円]
平等割*4	32,200円 [28,600円]	9,300円 [6,600円]	6,200円 [5,500円]
課税限度額	50万円 [47万円]	13万円 [12万円]	10万円 [10万円]

[] 内は21年度の税率、金額です。

Keyword

*1所得割●世帯加入者の所得に応じ計算される *2資産割●世帯加入者の資産に応じ計算される *3均等割●世帯加入者数に応じ計算される *4平等割●一世帯あたりの金額を計算する

離職者の国保軽減措置

対象は65歳未満の人のうち▼倒産や解雇などで離職した「雇用保険の特定受給資格者」▼雇止めなどで離職した「雇用保険の特定理由離職者」として失業給付を受けらる人です。

70歳以上の国保加入者

各種認定証の手続き

●**国保の高齢受給者証が更新**
70歳から74歳までの前期高齢者で国保加入者の高齢者受給証は、7月31日に有効期限が切れます。新しい受給者証を7月中に送付します。

●**国保の限度額適用・標準負担額減額認定証が更新**
前期高齢者で医療を受ける人のうち、「低所得者Ⅰ」または「低所得者Ⅱ」の該当者へ交付される限度額適用・標準負担額減額認定証が更新されます。

問い合わせ 税務課

☎0178-4704

●**軽減内容** 前年の給与所得を3割とみなします。

●**軽減期間** 離職した次の日から翌年度末までです。届け出が遅れた場合でも、さかのぼって軽減を受けられます。軽減を受けるためには届け出が必要です。詳細は気軽に問い合わせください。

●**持ち物** 雇用保険受給資格者証

●**問い合わせ** 税務課
☎0178-4704

70歳未満の国保加入者

入院した場合、認定証を医療機関へ提示すれば、支払い額は自己負担限度額まで軽減されます。現在入院中で認定証が必要な人は、早めに申請してください。

現在交付している認定証は、7月31日で有効期限が切れます。8月以降も認定証が必要な場合は、あらためて申請が必要です。

不明な点がありましたら、環境保健課へ気軽に問い合わせください。

●**申請場所** 環境保健課または町民課のいずれか

●**持ち物** 被保険者証、印鑑

●**問い合わせ** 環境保健課
☎0178-4218

後期高齢者医療の 各種証明手続き



☎環境保健課 ☎0178-4218
青森県後期高齢者広域連合
☎017-721-3821

●**後期高齢者医療被保険者証の変更**
21年中の所得状況により負担割合が変更する人には、8月から使う新しい被保険者証を7月中に郵送します。

●**後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証**
この認定証を医療機関窓口に提示すれば、入院時の自己負担限度額と食事代が減額されます。

①交付対象者

(1) 低所得区分Ⅰ該当者
世帯員全員が住民税非課税で、各所得金額がすべて0円の人
(公的年金収入は80万円以下)
および高齢福祉年金受給者

(2) 低所得区分Ⅱ該当者
世帯員全員が住民税非課税の人

②申請に必要なもの

(1) 後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定申請書

(2) 印鑑

(3) 被保険者証

●**申請場所** 環境保健課、町民課
現在使っている認定証の有効期限は7月31日までです。引き続き低所得者Ⅰ・Ⅱと判定された人には、新しい認定証が交付されます。更新手続きの必要はありません。

●**高額療養費の自己負担限度額・食事療養標準負担額**

所得区分	負担割合	自己負担限度額(月額)		1食あたりの食事代
		外来	外来+入院	
現役並み	3割	44,000円	*1	260円
一般		12,000円	44,400円	
低所得Ⅱ	1割	8,000円	24,600円	160円または210円*2
低所得Ⅰ			15,000円	100円

*1◎ [80,100円+ (医療費-267,000円) × 0.01] の額。過去1年間で4回目以降は44,000円です *2◎過去1年の入院期間が90日以下なら210円、90日を越えれば160円です

●保険料の減免

天災などの事情で保険料の納付が困難な場合、申請すれば保険料の減免を受けられる場合があります。

介護

後期高齢者医療

保険料

はこうして納める



保険は一人一人の「支え愛」。幸せでいきいきとした生活を送るためにも、保険料は忘れず納めましょう。

☎税務課 ☎0178-4704

保険料は期限内に納めましょう

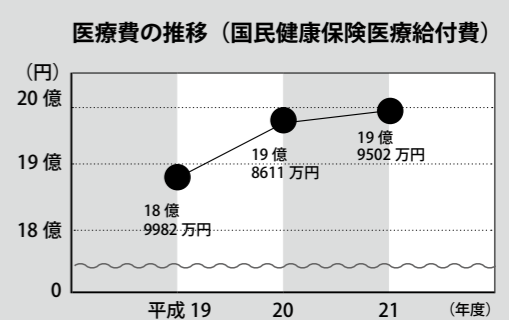
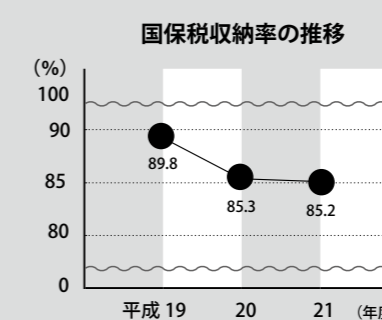
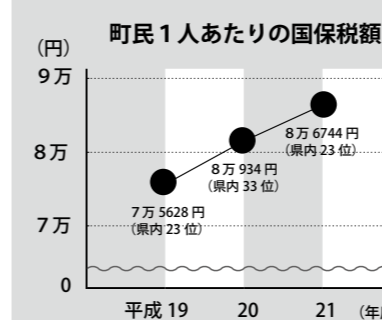
期	納付期限日
1	8月2日
2	8月31日
3	9月30日
4	11月1日
5	11月30日
6	12月27日
7	1月31日

	介護保険料 (第1号被保険者)	後期高齢者医療保険料
納付の開始	「65歳の誕生日の前日」の属する月	「75歳の誕生日」の属する月

普通徴収
口座振替や納付書で保険料を納めます。対象は「年金の年額が18万円未満の人」です。ただし、後期高齢者医療保険料の場合は「介護保険料と合わせた額が年金額の2分の1を超える人」が対象です。納付書は7月上旬に発送します。

特別徴収
年金から保険料が自動的に差し引かれ、納める方法です。対象は「年金の年額が18万円以上の人」です。ただし、後期高齢者医療保険料の場合は「介護保険料と合わせた額が年金額の2分の1を超えない人」が対象です。

ただし、次の場合は普通徴収で納めます。
①介護保険料は65歳、後期高齢者医療保険料は75歳になった約半年から1年の間
②ほかの市町村から転入してきたとき
③申告のやり直しなど、所得金額が変更になったとき
④年金が停止し、保険料の差し引きができなくなったとき



保健福祉

Health information

健診を受けよう

あなたのために、愛する人のために

健診で病気を早く見つけられます

健診を受けずに過ごす時間が長いほど、病気の発見は遅くなります。体の負担はもちろん、治療費にかかるお金も多くなります。

Check 1 糖尿病の治療に5千万円もかかる

糖尿病を早期に発見すると治療費は850万円程度。遅れた場合は約6倍の5千万円かかると言われています。

Check 2 がんが完治する可能性がアップ

早期にがんが発見できれば、手術などで完治する可能性が高まります。お金だけでなく、体への負担も減ります。

受診できる健診を確認しよう

生活習慣病の健診

近年話題の「メタボ健診」です。腹囲を測ったり、血液を検査したりします。



健診の種類 対象者

① 特定健診 [40～74歳の人] 希望者は保険証の発行元に申し込んでください。町の国保加入者は環境保健課へ申し込んでください。

② 基本健診 [40～74歳の特定健診対象者以外の人] 希望者は環境保健課へ申し込んでください。

*1▷20～39歳の人▷75歳以上の人▷障害がある一部の65歳以上の人▷生活保護を受けている人▷が対象です。

がん検診

対象年齢の町民なら誰でも受診できます。積極的に受診してください。

がんの種類	対象年齢
① 胃・大腸・肺がん	40歳以上
② 前立腺がん	50歳以上
③ 子宮がん*2	20歳以上
④ 乳がん*2	40歳以上

*2 2年に1回、偶数年齢の時に受診します。ただし、国の特別事業(クーポン券)対象者は偶数年齢でなくても受診できます。年齢のとりえ方は気軽に問い合わせください。

環境保健課 ☎ 0178 56 4218

す。▼どうすればよいか分からぬ▼対応テレビにしたが番組が見られないなど、困っている人を対象に相談会を行います。

相談会に来られない場合でも、デジサポ青森は個別相談を受け付けています。

●日程・会場

- ① 7月20日(火) / 一川目地区生活会館、本庁舎ロビー
- ② 7月21日(水) / 東公民館、本庁舎ロビー
- ③ 7月22日(木) / 東公民館、古間木山集会所
- ④ 7月23日(金) / 古間木山集会所

●開催時間 10～12時、13～16時(1会場2回)

●問い合わせ 企画課または 総務省デジサポ青森 ☎ 017-722-1831

●町平和祈念祭を8月6日に開催します

町民課 ☎ 0178 56 2246

終戦からすでに65年が経ちました。日本のために命をささげた英霊たちを、共に献花し慰めましょう。

●日時 8月6日(金) 10時 半～11時半

●場所 町民交流センター

子育て支援センターのサークル活動

場所	日時	行事内容
三田保育園 ☎ 0178 56-2008	7/3(土) 9:00～12:00	運動会
	7/6(火) 10:00～11:00	手作りおもちゃで遊ぼう(北部児童センター)
	7/7(水) 10:00～11:00	手作りおもちゃで遊ぼう(南部児童センター)
	7/8(木) 10:00～11:30	親子クラブ(ビニール袋で遊ぼう)
	7/13(火) 10:00～12:00	ハンドメイドクラブ(小物入れ)
	7/14(水) 10:00～11:30	よちよちひろば(手作りおもちゃ)
	7/15(木) 10:00～12:00	体験保育(2歳クラス)
	7/20(火) 10:00～12:00	体験保育(1歳クラス)
	7/22(木) 10:00～12:00	体験保育(0歳クラス)
	7/9(金)、16(金)、23(金)、30(金) 10:00～12:00	たんぼぼクラブ ※詳細はたんぼぼ通信をご覧ください
錦ヶ丘保育園 ☎ 0178 56-4051	7/1(火) 10:00～11:30	ピヨピヨルーム(七夕製作)
	7/10(土) 17:30～20:00	夕涼み会(ゲームで遊みましょう)
	7/22(木) 10:00～11:30	お誕生会
菜の花保育園 ☎ 0176 53-8670	7/10(土) 10:00～11:30	保育体験
	7/10(土) 14:00～15:30	わくわくサークル(ハーブと花の鉢植え)
	7/13(火) 10:40～11:20	歌遊び・手遊びの紹介(北部児童センター)
	7/27(火) 10:40～11:20	絵本の読み聞かせ(北部児童センター)
	毎週土曜15:00～	キッズバレエ&リフレッシュ体操(有料)
	7/1(火) 10:00～12:00	七夕製作・給食体験
	7/3(土) 10:30～11:00	青空キッズ(中央公園)
	7/5(月)、15(金) 10:00～12:00	はんど&はあとサークル
	7/6(火) 10:00～11:30	おしゃべりサロン(しばかりくん作り)
	7/8(木) 10:00～12:00	いちょう公園散歩(いちょう公園体育館集合)
あゆみ保育園 ☎ 0178 52-2206	7/12(月)、29日(土) 10:00～11:30	エクササイズ
	7/13(火) 10:00～11:30	ポシェット作り
	7/16(金) 13:30～14:30	ほんわかルーム(ピアノ・フルートコンサート)
	7/20(火) 10:00～12:00	お誕生会(4～7月生まれ)
	7/22(木) 9:30～12:00	おいらせクローバ
	7/27(火) 10:00～12:30	フラサークル
	7/31(土) 18:00～20:00	夕涼み会
	※詳細はきらら通信をご覧ください	

●町民相談

●日時 7月14日(水) 10時

●場所 東公民館

●相談員 小向恵子

●行政相談

●日時 7月28日(水) 10時

●場所 東公民館

●相談員 徳永幸雄

☎ 0178 56 3850



相談日

一人で悩まず相談してください

●人権相談

●日時 7月9日(金) 9時

●場所 北公民館

●相談員 人権擁護委員

●子育て

ひとり親家庭等医療費給付制度の更新手続き

町民課 ☎ 0178 56 2246

この制度は▼ひとり親父または母が重度障害者の家庭への父母・児童に医療費の一部を助成する制度です。ただし所得制限があります。この助成を受けるには申請が必要です。受給者は7月中旬に更新の手続きを行ってください。

●受付期間 7月1日(土)～30日(金)の平日、8時15分～17時

●受付場所 町民課、分庁サービス課

●持ち物 ▼保険証▼印鑑

▼受給者証(22年7月31日有効期限切れのもの)

*22年1月2日以降、本町に転入した人は、22年度の所得証明書が必要です。

子ども手当の申請は早めに済ませましょう

町民課 ☎ 0178 56 2246

子ども手当の1回目の支給は6月に行われました。中学生以下の子どもを持つ人で手当が支給されていない場合、申告漏れの可能性があります。

●地上デジタル放送の個別相談会を開催

町企画課 ☎ 0178 56 4701

来年7月にアナログ放送は終わり、地上デジタル放送(以下「地デジ」)に切り替わります。地デジを視聴するには地デジ対応テレビや地デジチューナーの準備が必要ですがあります。

●受付期間 7月1日(土)～30日(金)の平日、8時15分～17時

●受付場所 町民課、分庁サービス課

●持ち物 ▼保険証▼印鑑

▼受給者証(22年7月31日有効期限切れのもの)

*22年1月2日以降、本町に転入した人は、22年度の所得証明書が必要です。

「合併検証」を公開



おいらせ町誕生から5年目を迎えました。「新町建設計画(平成18年)」、「第一次おいらせ町総合計画(21年)」の策定により、将来像「奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち」の実現に向けたまちづくりが進んでいます。

合併がどのような効果や影響をもたらしたのか。これを検証するため、昨年町民アンケートを実施。この結果を加えた「数字で見た合併検証」がまとまりました。下記の場所で閲覧することができます。町ホームページからダウンロードすることもできます。

▷行政に対する人々の見方▷合併後の地域づくり▷取り組みへの思いなど、さまざまなことが見えてきます。さらにワンランク上の地域づくりを実現するヒントになるかもしれません。

閲覧場所	電話番号
企画課	0178 56 4701
分庁サービス課	0178 56 4214
北部出張所	0176 57 0033
中央公民館	0178 56 2251
東公民館	0178 52 2061
みなくる館	0178 52 3900

町企画課 ☎ 0178 56 4701

ごみは夜出さず、収集日の朝8時までに出してください。ペットボトルのキャップやラベルははずしてください

町内会	収集日	資源ごみ	粗大ごみ
有楽町/阿光坊/本村/新敷/錦ヶ丘/洗平	毎週月・木曜日	7月7日(水) 7月21日(水)	7月9日(金)・23日(金)
住吉町/若葉/青葉/緑ヶ丘/木内々/染屋/木崎/秋堂/中野平/向山/苦米地/洋光台/根岸/黒坂/深沢/一川目/二川目	毎週火・金曜日	7月14日(土) 7月28日(土)	7月26日(月)
鍋久保/三本木/三田/間木/曙/木内々/染屋/木崎/秋堂/中野平/苗振谷地/向坂/本町地区/くるみ団地/藤ヶ森/いちょう団地/堀切川/川口/明神下/横道/日ヶ久保	毎週火・金曜日	7月14日(土) 7月28日(土)	7月26日(月)
★有料予約制/1週間前までに申込みが必要です			

祝日も収集します 環境保健課 Tel 0178-56-4218

国民年金♥ガール

「免除申請」22年度分申告受け付けスタート

7月上旬
あれっ？
何か届いてるわ。

これ、国民年金の納付書だわ…

この前、免除申請してきたのに…何で…

国民年金ガールさん…
それはね♡

原則、毎年7月に申請が必要だからよ♡

これから役場に年金手帳を持って申請に行こうっ。

22年度分は今月から来年7月末まで受け付けます

教えておいらくん

申請に必要なのはこちらです

- 年金手帳
- 離職の場合は離職証か雇用保険受給資格証
- 代理の場合は認め印と代理の身分証

21年度分(21年7月～22年6月)の受け付けは来月までだよ。忘れないでね。



☎日本年金機構八戸年金事務所 ☎0178 ④ 1742
 町民課 ☎0178 ⑤ 2246

募集します

自治推進委員会の委員を公募します

企画課 ☎0178 ⑤ 4701

●応募資格
 ①町内に在住または勤務し、会議場所(本庁舎)まで自分で移動し参加できる18歳以上の人
 ②町のほかの審議会などの委員、議会議員または行政機関の職員でない人
 ③町税などを滞納していない人

●委員会の役割
 ▼町民へ情報提供がなされる

いきいきランラン
 美化賞を募集します
 環境保健課 ☎0178 ⑤ 4218

緑化活動や清掃活動などを表彰します。気軽に申し込んでください。

●対象 町民または町内の団体

●表彰内容
 ①緑化活動賞／おおむね2年以上、計画的に環境整備を行った個人や団体
 ②環境美化賞／おおむね5年以上、清掃美化活動を行った個人や団体

＊単年度でも、効果が大きいものや模範となる活動も対象になります。

●推薦の手続き 10月29日(金)までに▼環境保健課▼町民課▼北部出張所へ備え付けている推薦用紙で応募してください。町ホームページからもダウンロードできます。

●審査 廃棄物減量等推進委員会で審査し、決定します。結果は公表するほか、表彰対象者へ通知します。

●表彰 賞状、記念品を贈呈します。

●応募方法 応募用紙に必要事項を記入し▼持参▼郵送▼ファクス▼電子メールのいずれかで申し込んでください。応募用紙は▼企画課▼分庁サービス課へ

●報酬 日額5千3百円と旅費

●応募方法 応募用紙に必要事項を記入し▼持参▼郵送▼ファクス▼電子メールのいずれかで申し込んでください。応募用紙は▼企画課▼分庁サービス課へ

●任期 委嘱の日(8月予定)から平成24年3月31日まで

●会議 年2回程度(日中3時間程度)

●報酬 日額5千3百円と旅費

●応募方法 応募用紙に必要事項を記入し▼持参▼郵送▼ファクス▼電子メールのいずれかで申し込んでください。応募用紙は▼企画課▼分庁サービス課へ

夏の絵日記コンクール 作品を募集します

町立図書館 ☎0178 ⑤ 3600

夏の楽しい思い出を絵日記にしてみませんか。気軽に応募してください。

●応募資格 町内の保育園児、幼稚園児、小学生

●応募方法 図書館、公民館に備え付けている応募用紙に必要事項を記入し、申し込んでください。

●問い合わせ 039・2192 おいらせ町中下田135の2 企画課 ☎0178 ⑤ 4701 ファクス ⑤ 4364

●問い合わせ 039・2192 おいらせ町中下田135の2 企画課 ☎0178 ⑤ 4701 ファクス ⑤ 4364

子ども人間将棋 駒役の参加者を募集

8月21日に行う全国将棋祭り「子ども人間将棋」の駒役を募集します。参加者には、当日着用するTシャツをプレゼントします。

●応募資格 町内小学校の児童

●募集人数 先着55人

●申込み・問い合わせ ①みなくる館 ☎0178 ⑤ 3900 ②大山将棋記念館 ☎0178 ⑤ 1411

●問い合わせ 039・2192 おいらせ町中下田135の2 企画課 ☎0178 ⑤ 4701 ファクス ⑤ 4364

7月の納税相談日

☎税務課 ☎0178-56-4704

開設時間内であれば各種税金を納めることもできます。

	会場	月日	時間
夜間	本庁舎(税務課)	7月6日(火)	17:00-20:00
		7月20日(火)	
	分庁舎(分庁サービス課)	7月13日(火)	
		7月27日(火)	
休日	本庁舎(税務課)	7月4日(日)	8:30-17:00

納め忘れをしないためにも、手間のかからない口座振替が便利です

暮らしのお手伝いをいたします

生かそうシルバーパワー大募集

シルバー人材センターは、農業、大工、自動車運転や事務などの仕事をした、経験豊富な会員が、家庭や企業、公共団体からの仕事を引き受けています。あなたもシルバー会員になって、知識や経験を生かしてみませんか？

六戸町、おいらせ町内に居住し、健康で働く意欲のあるおおむね60歳以上の人で、センターの趣旨に賛同していただける人なら、だれでも入会できます。気軽にお問い合わせください。

社団法人おいらせ広域シルバー人材センター
 おいらせ町沼端14-165
 ☎0178 ③ 3177 ファクス0178 ③ 3028

町職員採用試験を実施します

●採用予定 一般行政職(若干名)

●試験の種類 ▶中級試験(短大、専門学校卒業・卒業見込みの人) ▶初級試験(高校卒業・卒業見込みの人) *上級試験申込みは終了

●受験資格
 ①昭和50年4月2日から平成5年4月1日までに生まれ、高等学校以上を卒業(23年3月卒業見込みを含む)し、活字印刷文の出題に対応できる人
 ②▶日本国籍でない▶成年被後見人または被保佐人▶禁固以上の刑に処せられ、その執行が終わっていない人▶は受験できません。

●1次試験日 9月19日(日)

●受験申込用紙の交付 7月2日(金)から役場総務課で交付します。郵送希望の場合は「職員採用試験申込書請求」と朱書きし、80円切手を貼ったあて先明記の返信用封筒(長形3号)を同封し、請求してください。用紙は分庁サービス課でも交付します(両面印刷してください)。ただし提出先は総務課です。

●受付期間 7月2日(金)から30日(金)までです。ただし、土日祝日は除きます。受付時間は8時15分から17時までです。郵送の場合は7月30日(金)までの消印に限り受け付けます。

●提出書類
 ①職員採用試験申込書(所定のもの)
 ②卒業(見込み)証明書
 ③顔写真2枚(うち1枚は申込書に貼り付ける。写真サイズは縦4センチ、横3センチ。受験前3カ月以内に撮影したもの)

●問い合わせ 総務課 ☎0178 ⑤ 2166



田中康平さん・杏梨さん夫婦に待望の長女・萌絵ちゃんが誕生。おめでとうございます。

- ★野村新汰 (卓広・かおり) 木内々 8人
- ★西館瀬七 (潤・幸子) 二川目
- ★田中萌絵 (康平・杏梨) 本村
- ★倉岡未翔 (潤一・涼子) 向山
- ★林紗那 (純也・水季) 青葉
- ★松林瀬那 (幸司・舞子) 木ノ下
- ★安住颯琉 (真人・たかね) 青葉
- ★土屋陽翔 (和義・加奈子) 住吉町

★こんにちは赤ちゃん

戸籍の窓

5月に届け出し、掲載希望した人を載せています

- 戸館たみ
- 山下とき子
- 西館もと
- 木村しわ
- 米内文男
- 川口シガ

68歳 83歳 83歳 91歳 85歳 96歳

- 肴町
- 若葉
- 上新町
- 藤ヶ森
- 染屋
- 洗平

11人

◎お悔やみ申し上げます

- 石川博康
- 高橋園子
- 北向正和
- 久野沙織
- 松林義喜
- 嶋山典子
- 山村憲
- 榊友香
- 富田大介
- 駒沢直美
- 川村勇貴
- 吉田有香梨
- 橋本彰
- 長濱麻美

- 二川目
- 一川目
- 鍋久保
- 八戸市
- 木ノ下
- 八戸市
- 七軒町
- 七軒町
- 八戸市
- 八戸市
- 青葉
- 木ノ下
- 八戸市
- 藤ヶ森
- 黒坂
- 八戸市

7組

♡結婚おめでとう

- 松林勇一
- 二川目アキ
- 千葉豊治
- 西館修
- 中川原リヨ

68歳 87歳 80歳 71歳 86歳

- 木ノ下
- 二川目
- 若葉
- 大工町
- 二川目

寄付ありがとうございます



◀イオンモール下田から町社会福祉協議会へ現金50万円

▶NPO法人やすらぎ福祉会(八戸市)から町へ木彫りの置き物



まちの人口 (6月1日現在)

	人口	前月比
男	12,158	↑ 9
女	12,900	↑ 4
計	25,058	↑ 13
世帯	9,291	↑ 12

編集後記

▼わたしは専業農家の長男として、1976(昭和51)年に生まれました。しかし今、家の手伝いはほとんどできていません。両親に対して、申し訳ないような気持ちが出てきます。松林彰彦さんの姿を、尊敬の気持ちとともに見つめました。自分の役割を持ち、厳しい自然と向き合う姿に「男らしさ」を感じました▼このほど、広報おいらせ(2009年11月号)は、全国広報コンクール広報紙部門(町村)で、特選に次ぐ一席に選ばれました▼広報おいらせは多くの皆さんとの協働でつくられています。取材に協力していただいた皆さん、支えてくれた皆さん、本当にありがとうございました▼これから地域に必要とされ、元気とやる気を与えることができる「おいらせならではの広報紙」を目指します。

企画課 広報担当 松林 拓大

日・曜	行事名	時間	場所	備考
1 困	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
2 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・相談
3 土				
4 日				
5 月				
6 火	リハビリ健康相談 1歳6カ月児健康診査	9:30-11:00 受け付け/12:30-12:45	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談 対象◎平成20年12月生まれの子ども
7 水	認知症予防教室 2~3カ月児健康相談 乳幼児健康相談	9:30-12:00 受け付け/10:00-10:30 受け付け/13:00-13:30	北公民館	対象◎平成22年4月生まれの子ども 月齢は問いません
8 木	転倒予防教室 転倒予防自主トレーニング	9:30-12:00 10:00-11:30	のびのび館 老人福祉センター	理学療法士の運動指導
9 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・相談
10 土				
11 日				
12 月				
13 火	リハビリ健康相談 2歳6カ月児健康診査	9:30-11:00 受け付け/12:30-12:45	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談 対象◎平成19年12月~20年1月生まれの子ども
14 水	転倒予防教室	9:30-12:00	北公民館	理学療法士の運動指導
15 木	転倒予防教室	9:30-12:00	のびのび館	理学療法士の運動指導
16 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・相談
17 土	愛の献血	10:00-16:00	イオンモール下田	
18 日				
19 月				
20 火	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談
21 水	健口栄養講座 9~10カ月児健康相談	9:30-13:30 受け付け/10:00-10:30	北公民館	対象◎平成21年9~10月生まれの子ども
22 木	転倒予防自主トレーニング 転倒予防教室	9:30-12:00 10:30-12:00	のびのび館 老人福祉センター	理学療法士の運動指導
23 金	リハビリ健康相談 3歳児健康診査	9:30-11:00 受け付け/12:30-12:45	いきいき館 老人福祉センター	理学療法士のリハビリ指導・相談 対象◎平成19年1月生まれの子ども
24 土				
25 日				
26 月	町民健診	受け付け/6:45-8:30	いきいき館	
27 火	町民健診 リハビリ健康相談	受け付け/6:45-8:30	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導、看護師の健康相談
28 水	転倒予防教室	9:30-12:00	北公民館	健康運動指導士の運動指導
29 木				
30 金	リハビリ健康相談	9:30-11:00	いきいき館	理学療法士のリハビリ指導・相談
31 土				

しもだ幼稚園親子教室 さくら広場

しもだ幼稚園「さくら広場」は、これから集団生活をお考えの親子や、気軽に話せるママ友達が欲しい、育児の相談をしたいなど、まだ集団生活をしていない親子を対象に開催する教室です。参加ご希望の方は、事前にしもだ幼稚園までご連絡ください。



◆対象 集団生活をしていない幼児と保護者
◆内容 園庭用具での自由遊びや制作活動など
◆実施日 月1~2回、水曜日(年間予定表があります)
◆時間 AM10:00~11:30
◆参加費 無料(親子の上履きをご持参ください)

◆対象 集団生活をしていない幼児と保護者
◆内容 園庭用具での自由遊びや制作活動など
◆実施日 月1~2回、水曜日(年間予定表があります)
◆時間 AM10:00~11:30
◆参加費 無料(親子の上履きをご持参ください)

17日④の夕涼会にも来てね。おいしいものや楽しいことがたくさんあるよ。待ってま〜。

しもだ幼稚園 〒039-2189 おいらせ町青葉五丁目 50-841 ☎0176 ⑤1850

※有料広告掲載欄です



たまにはけんかもするけれど
いつも笑顔のお父さんが大好きです
小向ひよりさん
光洋さん

(中新町)

PROFILE

こむかい・ひより◎1999(平成11)年東京都生まれ。小学校1年生入学の前に家族と共に本町へ引っ越した。陸上競技の短距離選手として、日々練習に汗を流している。父、母、妹との4人暮らし。おいらせ町中新町在住、11歳
こむかい・みつひろ◎1968(昭和43)年百石町(当時)生まれ。建築設計士として20年間東京都で勤務。子ども会や消防団の活動も積極的に行っている。42歳

さわやかな青空が広がった6月5日の朝、百石小学校前で花植え活動が行われた。PTAや子ども会、町内会、ボランティアグループなど50人余りが参加。道路沿いに花を植えた。

百石小学校5年生の小向ひよりさん(11)と中新町でも父の光洋さん(42)と共に参加。ひよりさんはにこやかにほほ笑みながら「この花の名前は？」と父へ問いかける。「これはサルビア」と、光洋さんも笑顔で娘の問いに答える。

最近陸上競技に夢中だというひよりさん。間近に控えた大会では100メートルに出場する。大会が近づくとつれ、光洋さんと共にトレーニングに汗を流しているという。

「お父さんと」たまにはけんかもします。でもすぐ仲直りしちゃうんです。いつも笑顔のお父さんが大好きです」と少し恥ずかしそうに話すひよりさん。互いに向き合う笑顔は、太陽のようにまぶしく輝いている。



奥入瀬川の恵みと笑顔あふれるまち

広報 おいらせ